

# 受入ホストのしおり

2012年3月修正

## 言葉について：

“英語が話せない”ということを余り重大に考えないようにしよう。勿論、話せないよりは、話せる方が便利である。時間があれば、簡単な挨拶等を勉強しておくのもいい。お知り合いに語学の得意な方がいれば、ホームパーティに参加してもらっても良い考え。また、辞書を片手にやり取りするのも微笑ましいもので、相手の言葉を教えてもらったり、逆に日本語を教えてあげることも、良いふれあいとなる。

## アンバサダーとの文通：

アンバサダーの住所（またはEmailアドレス）と氏名が知らされたら、やり取りを開始し、家族の写真などを紹介すると、来日を心待ちにするようになる。気候なども書き添えるのも親切。犬や猫などのペットについての情報も知らせておくとよい。

## 受入準備：

**部屋：**狭くても構いませんから個室を用意する。

**物入れ：**引出しを一段とか、洋服ダンスの一部など、物を入れる場所を用意。ハンガーとそれを掛ける場所も必要。タオル、ティッシュペーパー、ごみ入れなども用意してあげるとよい。

**トイレット：**洋式が理想的だが、和式でも勿論構わない。ただ、ひざの悪いお年を召したアンバサダーだった場合は、辛いものがあるかもしれないので、あらかじめホスト側EDに知らせて、了解を取っておくとよい。

**入浴：**入浴の仕方は日本独特である。浴槽内で石鹸を使ったり、お湯を抜いてしまったりしないように、説明をする。シャワーしか使わない場合が多いので湯船に入る日本式を強要し過ぎないほうがよい。

外国人には日本の名前は呼びにくく、また覚えにくい。家族の名前を書き出した表を作ってあげるとか、愛称で呼んでもらうような工夫をする。

**家族の日程表**（起床、食事、就寝など）を貼り出してあげると、アンバサダーは、その都度見ることができ、ホストファミリーの生活パターンに合わせやすくなる。

**無理に一緒に行動するのではなくアンバサダーの自由時間も大切にあげよう。**1人でも楽しめるように、英字新聞、雑誌、ラジカセなども用意してあげると喜ばれる。

前の週に、日本国内で別のクラブにホームステイするケースも多いので、前週受入クラブのホスト家族に、食事や行事などを聞いて、重複しないよう考慮してあげることも、良い心遣いです。

## 対 面：

ホストの皆様には、所定の会場に集まっておいただき、アンバサダーとの対面の後、一緒に帰宅していただく。長い旅に疲れ、見知らぬ国での生活に多少の不安を抱いている彼らにとって、自分のホストファミリーが来ていないというのは心細いもの。時刻に遅れることのないように、又、どうしても都合のつかない場合は、必ずEDか委員会の方へ連絡して、相談するようお願いいたします。

## 家庭到着後：

お部屋に落ち着いた後は、トイレ、台所などを案内し、簡単に、これからのスケジュールを話し合う。**アンバサダーの意見を反映してスケジュールに織り込むとよいでしょう**

念のために住所と電話番号を渡しておく。時差の疲れを取るには、しばらく時間がかかるので、スケジュールは無理のない様に組む。特に到着日の翌日の起床時間は遅めにし、ゆっくり休んでいただく。

## 日常生活の留意点：

外国からのお客様ということで、過度に神経を使ったり、もてなしたりする人がいるが、アンバサダーも、お客様扱いを期待しているのではないので、家族の一員として受け入れるという意識で接すること。観光旅

行ではないから、毎日あちこちへお連れしなければいけないということではない。普段の生活をそのまま見せてあげることが重要。

むしろアンバサダーの仕事や趣味などを知って、興味のある所、例えば、教師の方なら、近くの学校を訪問するなどの、希望を生かした手作りのプランが喜ばれる。

### 趣味嗜好などを知っておく：

喫煙者かどうか、何かのアレルギーがないか、宗教上食べられないものはないかなど、前もってやり取りの中で聞いておくと良い。

ベジタリアンの場合と一緒に食材を買いに行きアンバサダーに料理をして貰うなども一案  
食事に日本料理を用意することは、日本文化を理解していただくのに必要なことだが、テーブルの上すべてを刺身、煮物、納豆など日本にしかないものばかりで、最初から埋めるのも考え物。何か一品、彼らの食べ慣れたものを食卓に載せるようにしよう。

### 思想・宗教などに干渉しない：

その国の民族の歴史、環境によって、人それぞれ異なる思想、宗教を持っていることは極めて自然なことであり、これがお茶の間で話題になった場合、相手の立場を尊重し、聞き上手になるという気配りをしてあげよう。

### もてなしのアイデア：

食卓や応接テーブルなど、人の集まる所に**辞書**を置いておくと便利。

英語で書かれた日本の童話や民話、日本文化の写真集なども喜ばれる。**地図**を用意しておき、行ったところにマークしていくと、訪問地への親近感や現実感が湧いてくる。

時には地図を渡して彼らだけの冒険旅行（例えば**近所の散歩**など）に送り出すのも良い考え。

### 近所の商店街の散歩

こじんまりしたお店が並んでいるのを見て、お祭りみたいだと喜ぶアンバサダーは少なくない。スーパーマーケットに並ぶ食料品を説明してあげよう。待ち合わせ時間と場所を決め、アンバサダーだけで行動して貰うのも一案。

### お稽古事の見学

お茶、生け花、琴、三味線、民謡、剣道、柔道などは勿論のこと、英会話、コーラス、ダンス等のレッスンなどに連れて行くのも良い。たくさんのお友達に紹介するチャンスである。

### 学校訪問

あらかじめ連絡を取った上でお連れする。生徒達にも良い経験になることだろう。

ただし、許可を取るなど手続気が必要なので無理にお願いしないこと。

### お料理の講習会

お台所へ一緒に入っていていただいて、腕前をお見せしよう。彼らに何か作ってもらうのも一案。

日本人の包丁さばき（キャベツの千切りなど）は高い評価を受ける。

### 永いお付き合いを：

帰りにお土産を持たせてあげるのも結構だが、余り高価なものを差し上げるのは考え物。滞在中に使ったお箸とか、湯呑茶碗程度で良いのではないだろうか。せっかくお友達になったのだから、肩肘張らない家族ぐるみの、末永いお付き合いをしていくようにしよう。

定期的に近況を知らせあうとか、少なくとも、クリスマスカードぐらい送ってあげたいもの。

世界のどこかに、自分たち家族みんなで親戚付き合いができる人達がいるということは、本当に素晴らしいことだと思いませんか。友情の芽生えを大切にしましょう。

### 注 意：

アンバサダーの急病などに備えて、英語の通じる病院を調べておこう。トラブル等は必ずEDに連絡する。